

**Japanstiftelsen（日本基金）**－日本の社会研究奨学金財団は、1980年代に東京・六本木のスウェーデン大使館の土地が一部売却され、その利益を資金として、スウェーデン政府主導のもとに設立された、日本研究に奨学金を提供する基金です。売却された土地は、日本に進出していたスウェーデンの企業が1930年代に、日本とスウェーデンの交流推進のために寄贈した資金で購入され、当基金はその意思を継ぐ形で創立されました。

同基金は、日本における日本の社会全般にかかわる調査・研究に対する奨学金を、スウェーデン国籍保持者に対して提供します。1992年の秋に最初の奨学金授与対象者を送りだした後、毎年およそ80万クローネ（約1070万円）ほどを、幅広い分野の研究に助成してきました。

当基金の奨学金は、日本での2週間から3ヶ月の短期滞在に必要な、旅費や宿泊費用に充てられます。奨学金への応募には、日本における協力・提携機関との関係が確立されている旨を書類によって提示することが必要となります。そのほかにも、応募に際しては、研究の目的、計画、帰国後成果発表の見通しなど、詳細な具体的記述が要求されます。

奨学金を授与される主な対象者は、以下の方々です。

- 研究者、大学院生
- ジャーナリスト
- 芸術家、文化人
- 大学生（修士課程）